

糖尿病合併症とその予防

糖尿病は代表的な生活習慣病の一つで、さまざまな合併症を併発するため、健康寿命の延伸の障害になっている重要な疾患です。糖尿病に、り患すると、ウイルスや細菌による感染症にかかりやすくなり、特に高齢者で重要な死因となっている肺炎に罹りやすくなります。また、新型コロナウイルス感染による重症化も起こりやすくなります。そのほか、脳卒中や心筋梗塞、腎不全等の生命にかかわる合併症を併発します。糖尿病の合併症を予防するには、まず早期に糖尿病の診断をし、その治療をはじめることが重要です。本講座では、糖尿病の診断と治療について、また、糖尿病の合併症とその予防についてわかりやすく解説いたします。

日時：2022年6月23日(木) 場所：山王病院 本館3階 山王ホール

時間：14:00~15:00 (開場13:30) 完全予約制 参加無料



小田原 雅人 (おだわら・まさと)
内科部長 (糖尿病・代謝)
専門：糖尿病内分分泌代謝内科 (糖尿病・脂質異常症)
国際医療福祉大学 臨床医学研究センター教授
 東京大学卒、医学博士
 前東京医科大学糖尿病・代謝・内分泌・リウマチ・膠原病内科学分野主任教授
 元東京医科大学病院副病院長 元虎の門病院内分泌代謝科部長 元オックスフォード大学医学部Clinical Lecturer
 日本肥満学会認定指導医・肥満症専門医 日本糖尿病学会認定指導医・糖尿病専門医
 日本内分分泌学会認定内分分泌代謝科専門医 日本内科学会認定内科医

◆プログラム(予定)◆

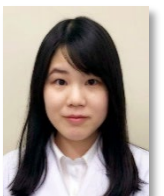
※多少前後することがあります

14:00 ~ 糖尿病の診断と治療
 (岡村医師)

14:25頃~糖尿病の合併症とその予防
 (小田原医師)

14:50頃~ 質疑応答

糖尿病はわが国でも激増しており、生命にかかわる慢性合併症、特に腎症や動脈硬化性の心筋梗塞、脳卒中の発症予防を目的に専門的治療を行っています。これらの合併症の発症予防には、生活習慣の改善と、血糖、脂質、血圧等の危険因子の総合的な管理が必要です。近年の糖尿病治療の進歩は著しく、すぐれたエビデンスを持つ治療薬が続々と発売されています。健康寿命の延伸のために、適切な治療を継続して受けていただくことをおすすめしています。



岡村 紗弥 (おかむら・さや)
専門：糖尿病内分分泌代謝内科 (糖尿病、甲状腺疾患、内分分泌代謝疾患)
 浜松医科大学卒
 前東京医科大学病院 元横浜市立大学附属病院 元公立学校共済組合関東中央病院 元済生会横浜市南部病院
 日本内科学会認定総合内科専門医・内科救急JMECC修了 日本救急医学会ICLSコース修了 緩和ケア研修修了

糖尿病は血糖値をよくすることだけでなく、合併症の進行を阻止することが非常に大切な疾患です。治療目標や治療方法は、患者様お一人おひとりにより異なります。食事療法、運動療法など生活スタイルの影響も大きい疾患であり、患者様の話を丁寧に受け止め、個々の状態にあわせた医療をご提供できるよう心がけています。また、糖尿病と合併しやすい脂質異常症および高尿酸血症などの代謝疾患や、甲状腺疾患をはじめとする内分泌疾患にも対応しています。

～参加方法～ **感染拡大防止のため、当日会場での聴講と後日Web視聴の2つの方法で行います。**

■ **会場聴講：完全予約制** (定員になり次第締め切ります。当日定員に満たない場合はご入場いただけますが、感染拡大防止のため、定員を超えた場合は会場にはお入りいただけません。)
 以下の事項を記載の上、FAX またはHPのお申込フォームのいずれかでお申込みください。
FAX：03-3404-3652 (さんのう健康講座事務局宛)

■ **Web聴講：HPのお申込フォームからお申込みください。お申込みいただいた方に、会場撮影した映像を後日メールにて配信いたします。**

申込フォームにアクセス→



お名前 (フリガナ)	ご住所	〒
お電話	参加人数	名 ※最大2名まで、かつ同居のご家族とさせていただきます。

住所が別の方は、お手数ですが1名様ずつお申込みくださいますようお願いいたします。